

広島大学マスターズ主催講演会

『どうなる？広島のお米～担い手確保の観点から～』

概要：「令和の米騒動」といわれる昨今のコメ価格高騰がきっかけとなり、いま、コメを取り巻く食料安全保障に世間の注目が集まっています。コメ価格高騰の最大の原因は供給不足にありますが、その主要因が構造的なもの、つまり、水田農業における担い手不足による生産力の減退であることが、ついにマスコミでも指摘されつつあります。そこでこの講演では、コメを中心に日本の食料需給にかかる現状と課題、およびその展開方向について、広島県における水田農業の担い手確保の取組に注目して検討したいと思います。

講師：細野 賢治 氏（広島大学教授）



講師プロフィール：1967年大阪府生まれ。大阪府立大学大学院農学研究科博士前期課程修了、博士（農学）。九州共立大学経済学部助手、同講師、同准教授、広島大学大学院生物圏科学研究科准教授を経て2020年から現職。著書に『ミカン産地の形成と展開』（単著、農林統計出版、2009年8月）、『現代の食料・農業・農村を考える』（共著、ミネルヴァ書房、2019年5月）など。NHK中国放送番組審議会委員長、広島大学生協理事長、（公財）日本食肉消費総合センター理事

専門分野：農業経済学、農業市場学 略歴：寝屋川市役所（都市計画課）、九州共立大学経済学部、広島大学生物生産学部、広島大学大学院統合生命科学研究科 趣味：国内・海外旅行、音楽鑑賞（主に洋楽）など。

司会：上 真一（広島大学名誉教授・広大マスターズ代表幹事）

日時：2026年1月24日（土）15：00～16：30（14：45開場）

（1時間講演、30分質疑応答）

場所：東広島芸術文化ホールくらら 208 研修室1・209 研修室2

入場無料：どなたも参加可能、事前申し込み不要（定員44人・先着順）

主催：広島大学マスターズ（問い合わせ）広島大学マスターズ（上 真一）

電話 090-7541-0701 メール：suye@hiroshima-u.ac.jp